

1 子どもはぐくみプロジェクト

(概要)

地域や関係機関等と連携し、次代を担う子どもたちの健やかで豊かな育ちのため、伏見区ならではの歴史的・文化的資産を活用した体験学習等や、子どもの貧困対策に関する取組を推進する。



(平成29年度の実績及び予定)

① 伏見指月城の遺構の発掘体験（「伏見連続講座」との連携）

開催日	参加者	内容
10月14日（土）	26組	「伏見城跡発掘調査体験と伏見人形の色付け」

② 子どもの貧困対策の実情や先進事例を専門家が紹介する連続講演会（全3回）

講師：幸重忠孝氏（幸重社会福祉事務所代表）

開催日	参加者	内容
10月3日（火）	83名	子育て講演会「子ども貧困について考える」
10月31日（火）	76名	活動事例報告—伏見区での取組から—
11月21日（火）	80名	対談「子ども貧困対策」—当事者を交えて—



③ 入園先の選択や子育てに役立つ子育て支援情報誌の発行

発行部数：3,000部

※伏見区ホームページにPDF版でも情報を掲載



平成30年度の基本的な考え方

保育園・幼稚園・児童館等の子育て関係機関の協力のもと、入園先の選択や子育てに役立つ「子育て支援情報誌」を引き続き発行する。新設の保育園や新しい支援施策等の最新の子育て支援情報をタイムリーに届ける施策について検討していく。

また、伏見の歴史的・文化的資産を活用した体験講座等については、引き続き開催を検討していく。

2 健康長寿プロジェクト

(概要)

住民自らの健康づくりを目的に、文化事業とタイアップしたまち歩きや地域医療機関と連携した取組を進めるとともに、地域の支え手としても活躍できる健康づくりサポーターの養成・育成等に取り組む。

(平成29年度の実績及び予定)

- ・伏見連続講座とタイアップした史跡めぐりや歴史ウォーキング等、計8講座のまち歩き事業を実施（予定含む）。
- ・地域医療機関と連携したロコモ予防講座と健康展
- ・伏見区健康づくりサポーターの養成・育成・活動支援
- ・区役所及び地域等に出向いた健康教室の開催
- ・健康教室等の受講後の自主グループ支援
- ・若い世代に向けたがん予防と健康づくりの取組



事業名	内容	実施回数	参加者数 (延)
① げんき広場	体操・健康情報の発信	47回	4,209名
② 伏見港公園等での健康づくりサポーター活動のPR活動	体操の実施など、健康づくりサポーター活動の発信	3回	98名
③ 健康づくりサポータースキルアップ講座	健康づくりサポーター活動を実施する上で、必要な知識の習得や、活動の検討・共有	8回	114名
④ 健康づくりサポーター養成講座	健康づくりサポーターの役割や活動の理解、今後の活動にむけた意識づけ	2回	28名
⑤ 区役所で開催する健康教室等	ロコモ予防、骨粗しょう症予防等に関する講話・実技	4回	200名
⑥ 地域等へ出向いて行う出前型健康教室	熱中症予防、ロコモ予防、禁煙相談、メタボ予防、骨粗しょう症予防に関する講話・実技	6回	312名
⑦ 健康教室受講後の自主グループ支援	自主的に運動を継続するためのウォーキングを中心とした講話・実技	1回	21名
⑧ 若い世代にむけたがん予防と健康づくりの取組	乳幼児健診や子育てサロンでの普及啓発に関する講話・実技	12回	164名
⑨ 伏見ふれあいプラザ、神川健康・福祉まつり等地域で開催されるイベントブースでの健康づくり啓発の取組	健康測定、血圧測定、健康相談、災害時の食事づくり、健康づくり関連パンフレットの設置	4回	450名

平成30年度の基本的な考え方

子育てや仕事で忙しい世代に向けて、若い時期から健康的な生活を積み重ねることを目的に、より良い生活習慣について学び、自身の生活に役立てるための取組を検討する。

住民自らの健康づくりの取組を促進するため、地域医療機関と連携したロコモ予防の運動教室等の開催を検討する。

3 観光振興事業

(概要)

近年、伏見稲荷大社は人気の観光スポットとして、多くの観光客が訪れているが、魅力あふれる観光資源がある伏見南部地域（旧伏見市周辺）への誘客は弱い状況である。

そこで、当該地域に観光客を呼び込むため、平成 28 年度から大学・地元・行政が一体となって、酒蔵が残る風情ある街並みなどの観光スポットの魅力を発信するため、日本酒をテーマにした観光マップを作成するなどの取組を推進している。さらに今年度は、文化庁の京都への全面的な移転が動き出す中で、伏見指月城の遺構発見や大政奉還 150 周年等、伏見が注目される機を捉え、特に鳥羽伏見の戦いの戦場となった各地域等、歴史の痕跡を再発見・再認識する講演会やまち歩きを開催し、観光資源の再発掘と面的広がりにつなげていく。

(平成 29 年度の実績及び予定)

- ① 大政奉還 150 周年記念「大政奉還から鳥羽伏見の戦いへ」をテーマにした講演会やまち歩きの開催

開催日	参加者	内容
10 月 7 日（土）	約 350 名	【「大政奉還、鳥羽伏見の戦い」150 年前の伏見を探る】をテーマに講演会を開催
10 月 21 日（土）	41 名	【鳥羽伏見の戦いと東海道 57 次宿場町に行く！】をテーマに、京阪ホールディングス株式会社と共催でまち歩きを開催

- ② 地元の既存イベントとタイアップした観光客の誘客イベントや昨年度に作成した二か国語対応の観光マップを活用した観光モビリティマネジメントの PR イベントを実施予定



平成 30 年度の基本的な考え方

伏見の奥深い魅力や多様な観光コンテンツの発信力強化のため、区民自らが地域の魅力を知り、発信することができる環境を整えていく。また、公共交通機関を活用したさらなる観光客の誘客を目指し、大学、地元商店街、各種団体、交通局等と連携した取組を推進していく。

4 伏見をさかなにざっくばらん（愛称「ふしざく」） （概要）



伏見に縁のある方々が、「伏見を盛り上げたい」、「伏見の魅力を発信したい」などの伏見への思いをざっくばらんに出し合う中でテーマを提案し、そのテーマごとにチームを立ち上げ、ワークショップ形式で議論を深め、区民主体のまちづくり活動につなげていくことを目的として、平成24年6月から毎月最終土曜日の午後に定例会を開催。



（平成29年度の実績及び予定）

- ・15チーム（うち新規7チーム）による区民主体の活動が展開
- ・新たに、京都すばる高校生によるチームも結成
- ・地元ラジオ局とタイアップした積極的な情報発信

（参考）平成29年度の開催状況

回	実施日	参加者数	内容
1	4月22日（土）	60名	・参加者の交流を深めるワークショップ
2	5月27日（土）	51名	・参加者による今後取り組みたい事業提案
3	6月24日（土）	68名	・仲間集めとグループ会議
4	7月29日（土）	68名	・事業提案ごとにチーム結成
5	8月19日（土）	70名	・「伏見ふれあいプラザ2017」出展準備 ・各チームの実施するまちづくり活動及びイベントの企画等について議論（以下「チーム会議」）
☆	9月3日（日）	有志 （30名）	・「伏見ふれあいプラザ2017」において、ふしざくブースを開設し、PR活動を実施
6	9月23日（土・祝）	72名	・「ふれあいプラザ2017」活動報告 ・チーム会議
7	10月28日（土）	55名	・チーム会議
☆	11月19日（日）	有志 （10名）	・「伏見・お城まつり」において、ふしざくブースを開設し、PR活動を実施
8	11月25日（土）	55名	・「伏見・お城まつり」活動報告 ・チーム会議
		539名	（11月25日時点）

平成30年度の基本的な考え方

幅広い人材の参画を求めるため、SNS等を活用したチーム活動の発信を充実させるなど、チーム活動のさらなる見える化に向けた取組を推進するとともに、区民活動支援事業への申請を積極的にサポートするなど、チーム活動のステップアップへの支援に取り組んでいく。

5 向島ニュータウンの活性化

(概要)

向島ニュータウンまちづくりビジョン概要版（別紙資料を参照）

(平成29年度の実績及び予定)

	推進会議	向島まちづくり通信	向島ニュータウンのこれからを話し合う集い
実績	3回開催	第7号、第8号発行	第3回を開催
今後の予定及び備考	来年1月下旬第4回開催予定	第1号～第6号までは平成28年度発行	平成28年度に第1回、第2回開催。年度内に第4回開催予定

(1) 各WGの取組状況

①魅力発信・商業地賑わいWG（4回開催 11月30日時点）

〈これまでの主な取組〉

項目	取組状況
地域活性化のための「マップ」作成、「ツアー」の開催	・京都すばる高校で、向島地域の「観光まち歩きマップ」を作成。 ・作成したマップをもとに「陸と空 二面の向島ヘリツアー」を開催。まち歩きやヘリツアーに加え、昼食は種智院大学の学生食堂で中嶋農園の野菜を使用した精進弁当が提供するなど、向島の魅力を満喫できる内容となっている。 【ヘリツアーの様子】  第1回 10/1(日) 28名参加 第2回 11/5(日) 約40名参加 (当日参加者含む)
農とまちづくり・地産地消とインバウンド活用	・地元農家や弁当販売会社の京フーズや種智院大学と連携し、「伏見野菜の地産地消」をテーマに農業体験、マルシェなどを開催している。 ・10/15(日) NPO法人向島駅前まちづくり協議会が主催となり、京都すばる高校、中嶋農園、イルチェロ、宮本フーズなどが協働で、「向島駅前野菜販売朝市」を開催。今後も月に一度の開催を目指す。 【朝市の様子】 
地域情報の住民への発信	・京都リビングエフエム「FM845」と文教大学がコラボした「文教パルシェ!」内で向島地域の情報を発信。

②住環境WG（6回開催 11月30日時点）

＜これまでの主な取組＞

項目	取組状況
住環境パトロール	・向島ニュータウン1街区～11街区を対象に、【パトロールの様子】各街区の危険箇所や共用スペースの利用実態などの調査を行ってきた。パトロールは9月をもって終了し、今後は課題抽出・整理をし、住環境の改善に取り組んでいく。 
向島中央公園リフレッシュ事業	・昨年度の「向島ニュータウンまちづくりビジョン検討会」における住民等の提案・意見をふまえて、本年度に公園内の過密になった樹木の間伐や必要に応じた植樹を行い、平成30年度に公園内の園路の部分的な補修を行う。 4/25(火) 現地調査 6/16(金) 建設局南部みどり管理事務所による住民説明会 10月～3月 伐採、剪定、もみじ、さくらなどの植栽

③子ども若者支援WG（5回開催 11月30日時点）

＜これまでの主な取組＞

項目	取組状況
子ども若者拠点づくり実行委員会 ＜伏見区民活動支援事業＞	・伏見、向島の子ども・若者自身が参画し、地域で孤立し、困っている子ども・若者に対する学習や体験を行う場、自分たちの力を発揮する場となる拠点づくり事業を実施する。現在、ボランティアの募集を行うために、市内の大学の訪問活動をしている。
キッズキッチン ＜子どもの居場所づくり支援事業補助金＞	・月に一度、京都文教大学で開催。これまで向島二ノ丸学区、二の丸北学区を対象に行われていたが、民生児童委員、城南児童館、保育園などが協力し、10/7（土）に向島藤ノ木学区で第1回が開催された。

④暮らし・安心WG（3回開催 11月30日時点）

＜これまでの主な取組＞

項目	取組状況
健幸プラスの取組	・商店街の空き店舗を借りて訪問看護ステーションなどの出張所を8月に開設。また、健康相談などができる「まちの保健室」を併設。
にじいろ準備プロジェクト （多様性のある居場所づくりに向けた各団体との連携及び地域住民への理解促進） ＜活動スタートアップ支援枠＞	・地域住民が中心となり、向島ニュータウン内に居住する高齢者、障害者、中国帰国者等、震災避難者等の多様な人々が気軽に交流でき、地域住民にもその多様性への理解を促す、コミュニティカフェを設置するための準備組織の設立を目指す。現在、助成金を活用し、高齢者複合施設やバザールカフェ（障害者の集いの場）の視察を行っている。 【バザールカフェ視察の様子】 

⑤防災・防犯WG（防犯2回，防災6回開催 11月30日時点）

＜これまでの主な取組＞

項目	取組状況
要配慮者把握のための既存の訪問活動状況の共有 ＜伏見区区民活動支援事業＞	向島二ノ丸学区自主防災会が「わたし（わが家）の避難計画」の作成に取り組んでいる。計画書には，緊急連絡先，常用薬，避難ルート等を記入し，自主防災会が把握する。9月末から計画書の各世帯への配布を開始。 ・消防署や地域包括などの自宅訪問と連携し，実態を把握する。
防犯，安心・安全に関わる地域活動の情報共有	高齢者を狙った犯罪への取組，防犯カメラの設置推進，危険箇所のマップ作りなど，住民の防犯意識の向上や安心安全に繋がる取組の検討を行っている。

（２） 向島ニュータウン地域団体活動ステップアップサポート事業

「向島ニュータウンまちづくりビジョン」に基づき，地域主体のまちづくり活動に係る支援の取組のひとつとして，活動へのアドバイスや経費の一部を助成する。

＜活動スタートアップ支援枠＞ 交付予定額各10万円

- ・向島及び向島ニュータウン魅力・賑いのための組織づくり
- ・多様性のある居場所づくりに向けた各団体との連携及び地域住民への理解促進
- ・子育て世代悩みなんでも相談窓口

＜活動アップグレード支援枠＞ 交付予定額30万円

- ・向島秋の祭典事業

＜活動融合支援枠＞ 交付予定額20万円

- ・地域情報化事業（地域FM放送やタウン誌による情報発信を行う仕組みを構築）

平成29年度 深草支所の取組の進捗状況

1 住み続けられる深草東南部エリアのまちづくり

(概要)

深草東南部エリアにおいて住民参加によるまちづくりビジョンの策定を進める等の取組を通じ、坂道が多く公共交通機関が通っていない場所の交通利便性が増大し、日常生活に必要な買い物等が地域内で可能となり、高齢者になっても住み続けることができるまちの実現を目指す。

(平成29年度の実績及び予定)

- ・住民参加による藤城学区まちづくりビジョン策定委員会
4～11月 10回開催 12月～2月 2回開催予定
- ・藤城学区夏祭り及び運動会でビジョン案についてのアンケートや意見聴取を実施
- ・藤城学区の広報誌「やまざくら通信」での情報発信
- ・3月 まちづくりビジョンの策定（予定）



【ビジョン策定委員会の様子】

平成30年度の基本的な考え方

- ・ビジョンの実現に向けた地域の取組の支援を図る。

2 はぐくみと健康長寿のまち・深草

(概要)

地域や高校・大学等と連携し、深草の魅力ある景観である琵琶湖疏水沿いの公共空地の整備を行い、みんなが集える広場と歩きたくなる環境づくりを進める取組等を通じ、子どもの健やかなはぐくみと住民の健康長寿を推進するまちの実現を目指す。



【みんなが集える広場の整備】

(平成29年度の実績及び予定)

- ・7月、9月「みんなでつくる（仮称）高松橋南側広場」ワークショップの開催
- ・9月 ワークショップを踏まえた整備案の現地確認・意見交換の実施
- ・11月 住民参加を募っての整備活動の実施
- ・12月～3月 住民参加を募っての整備活動 2回実施予定

平成30年度の基本的な考え方

- ・整備後の広場について、地域の方、広場の活用をしていきたい方等により維持管理ができるような支援を検討する。

3 つながりと活力あるまち深草

(概要)

(1) 深まるねっと

まちづくり活動の出会いと学びの場である「深まるねっと」では、今年度のテーマを「これからの地域福祉を考えよう」とし、伏見いきいき市民活動センターと連携のもと、新たな組織である子どもはぐくみ室も積極的に情報発信を行い、子どもの貧困や高齢者の居場所づくり等に関して語り合うことで、住民主体のまちづくり活動の担い手について考えていく。



(平成29年度の実績及び予定)

- ・ 4月, 6月, 8月, 10月「深まるねっと」開催
- 12月～2月 2回開催予定

平成30年度の基本的な考え方

- ・ 29年度の実績を継続するとともに、まちづくり活動団体への伴走支援事業を実施を図る。

【第1回の様子】

(2) ふかくさ自然環境再生ネットワークへの支援

平成19年から23年にかけて地域力により完成した深草トレイルには、近年、訪れる方が増えている。

これらの方々の安全確保のための環境整備や更なる魅力発信に地域住民や大学等と連携して取り組む。



【一斉清掃ウォークの様子】

(平成29年度の実績及び予定)

- ・ 6月, 11月 一斉清掃ウォーク開催
- ・ 7月, 9月 深草トレイルの維持管理活動実施
- ・ 4月～3月 随時, 不法投棄への対応, 深草トレイルコースや大岩山展望所の補修

平成30年度の基本的な考え方

- ・ 年間2回の一斉清掃ウォーク開催に加え、随時、不法投棄への対応、深草トレイルコースや大岩山展望所の補修を検討する。

4 大岩街道周辺地域の良好な環境づくりの推進

(概要)

平成22年3月に策定された「大岩街道周辺地域の良好な環境づくりに向けたまちづくりの方針」に基づき、「整備を誘導するエリア」について、関係局との連携の下、地区計画制度の活用等を通じて、良好な環境づくりを誘導していく。



【位置図】



【エリア図】

(平成29年度の実績及び予定)

「住宅や事業場等が集積するエリア（Bエリア）」について、住民・事業者による「まちづくり協議会」の設立とまちづくり案検討に係る支援を行う。

大岩街道周辺地域Bエリアまちづくり協議会の開催 6月設立 参加者：16名



【設立総会の様子】

平成30年度の基本的な考え方

鎮守池及び監視小屋跡地などの環境整備やそこでの取組を地元及び大学との共汗により行い、まちづくりの気運を盛り上げる。また、「大岩街道周辺地域Bエリアまちづくり協議会」のまちづくり案検討に係る支援を図る。

平成29年度 醍醐支所の取組の進捗状況

1 だいが地域活動若者応援隊

(概要)

まちづくり人材育成講座「おとなだいが塾」(平成26～28年度実施)の参加者である住民や学生等を中心に、住民とともにまちづくり活動に取り組む人材を地域内外から募集して「だいが地域活動若者応援隊」を新たに組織し、地域で実施されるまちづくり活動への人的支援(人材派遣)を行うとともに、応援隊参加者による地域課題の解決に向けた自主的な活動の展開に繋げていく。

(平成29年度の実績及び予定)

- ・ 6月 「だいが地域活動若者応援隊」の結成
- ・ 7月～ 地域でのまちづくり活動への応援隊の派遣(11月20日現在)

事業名	活動件数	活動人数
醍醐西子どもの居場所	3	23
小栗栖宮山子どもの居場所「あおぞら」	6	15
きたごとうキッズウィーク(広場・集会所開放)	2	4
醍醐ふれあいプラザ	1	8
小栗栖宮山学区総合防災訓練	1	2
北醍醐学区総合防災訓練	1	2
醍醐安心安全ニュースの作成	7	33
醍醐西こどもまつり	1	3
池田民協子どもイベント「みんなであそぼ」	1	1
計	23	91



平成30年度の基本的な考え方

引き続き、地域でのまちづくり活動の機会を捉えて応援隊を派遣し、地域活動の活性化、新たな担い手育成等に取り組む。

2 地域を挙げて支える「だいごっこ」の育み

(概要)

地域主体による子どもの居場所づくりの活動が更に進むよう積極的に支援するとともに、地域の子育て関係機関、育みサポーターで構成する「だいごっこ育み委員会」にPTAの参加を呼び掛け、行政、関係機関、家庭で子ども・子育て支援に関する課題を共有し、地域を挙げて子育てを支える環境づくりを推進する。

(平成29年度の実績及び予定)

- ① 「子どもの居場所づくり」への積極的な支援
 - ・ 6月…醍醐地域における「子どもの居場所」の安定的な運営や取組の拡大を支えるため、伏見区社会福祉協議会、伏見区民生児童委員会、ダイゴ5レンジャー隊及び醍醐支所の4者により協定を締結し、「子ども遊び学び食堂・醍醐ネット」を創設
 - ・ 9月…平成28年度の醍醐西学区、春日野学区に続いて、小栗栖宮山学区で「小栗栖宮山子どもの居場所あおぞら」を開設
- ② 子育て支援ネットワーク機関の取組
 - ・ 地域と子育て支援機関が連携して取り組む「子育てサロン」等事業の拡充
 - ・ 10月…子育てネットワーク研修会の開催
 - ・ 11月…地域の子育て応援者による「すくすくだいごっこ」(赤ちゃん訪問)の実施学区の拡大(5学区→6学区)
- ③ 「だいごっこ絵画展」
 - ・ 11月1～7日…パセオ・ダイゴローでの展示
 - ・ 2月…地下鉄駅での展示
- ④ 取組の定着に向けた研修・啓発
 - ・ 2月頃…研修会等の実施

平成30年度の基本的な考え方

引き続き、地域の子育て関係機関等の連携をより一層進め、地域の様々な資源を活用しながら、「子どもの居場所づくり」の更なる推進など、醍醐地域の子どもたちの育ちを地域を挙げて支える取組を進める。



3 「健康長寿のまち・醍醐」

(概要)

健康長寿のまち・醍醐の実現に向けて、身近な場所での健康づくり事業や、食育指導員との連携による「防災食」講座等を展開する。

(平成29年度の実績及び予定)

① 身近な場所での健康づくり事業の取組拡大

- ・ 10月19日…第1回「健康と憩いの場」(於：石田学区(UＲ石田公団集会所))を開催。以降月1回開催予定。健康講座、体操及び茶話会等により、参加住民の絆を深め、地域の輪を広げていく。
- ・ 10月26日…「おいでやす いきいき応援ひろば」(於：MOMO テラス)を開催。

年度内に2回目を開催予定(冬季)。地域包括センターと連携し、介護や健康に関する相談や各種測定、体操、生活習慣病などの啓発を大型商業施設で行うことにより幅広い年齢層にPRしていく。

② 食育指導員との連携による「防災食」講座

- ・ 学区防災訓練において、非常時のための食糧備蓄についての啓発と、手軽にできる防災食の作り方の講座を実施。平成29年度は日野学区、醍醐西学区で実施。

平成30年度の基本的な考え方

引き続き、地域に出向いて身近な場所での健康づくり事業等の取組を充実させるとともに、大型商業施設における健康関連イベントなどを企画し、幅広い年齢層の健康への関心を深める。また、多世代に共通する健康目標である「口腔清潔」をテーマにした取組の実施に向け検討を進める。



保健福祉センターについて

1 経過

福祉と保健をより一体的に推進していくため、本年、5月から、各区役所・支所において、従来の福祉事務所と保健センターを融合し、「保健福祉センター」とした。これにより、福祉・保健別であった窓口を、子どもや子育てに関する相談や手続きに一元的に対応する「子どもはぐくみ室」をはじめ、「障害保健福祉課」、「健康長寿推進課」、「生活福祉課」、「保険年金課」、「医療衛生コーナー」の分野別の窓口に再編し、子育て支援や健康づくりをはじめとした様々な取組を地域と一体になって進め、地域福祉・地域保健の更なる充実を図っている。

2 現況

(1) 窓口の状況

(ア) 子育て関係、障害関係の窓口

従来は相談内容により、窓口が福祉事務所と保健センターに分かれていたものが、「子どもはぐくみ室」及び「障害保健福祉課」に集約されたことにより、より分かりやすく、各種手続きが1箇所で行えるようになり、喜びの声をいただくなど、区民の皆様の利便性が高まった。

(イ) 食品衛生や感染症の相談

主に事業者関係の手続きは、本庁に集約され、区役所では、より身近な相談や健康診断等について対応している。

(ウ) その他の窓口

一部の名称の変更はあったが、業務内容に変更がなかったため、区役所の総合案内窓口とも連携することで、全体として大きな混乱なくスムーズな窓口案内に結びついている。

(2) その他

(ア) 職員の相互連携

各種申請手続き等の事務処理と保健師等専門職による相談対応が一体的に行えるようになり、緊急支援の必要な世帯への迅速な対応など、職員間の相互連携が取りやすくなった。

(イ) アウトリーチの取組

専門職が地域に出向く「アウトリーチ」の取組により、妊娠期から高齢者にいたるまで、区民の皆様自らが安心して子育てに、また、御自身の健康づくりに取り組めるよう、新たな事業展開を行っている。

(「アウトリーチ」の取組事例(別紙参照))

3 今後について

今後とも地域の皆様との強固な連携をもとに、さらに組織力を高め、「子育て・はぐくみ文化の推進」、「健康長寿のまちの実現」に向けて取り組んでいく。

「アウトリーチ」の取組事例

<本所>

○「健康・福祉まつり」の開催（11月23日（木・祝）神川出張所周辺）

地域と連携して実施。体力測定や健康体操のほか、災害時の食事作りや福祉用具の展示など、さまざまなブースが出展され、地域の方々に楽しみつつ健康づくりの意識付けをしていただいた。（久我・久我の杜・羽束師の3学区の関係機関が連携した取組）



<深草>

○学区社協事業と連携（11月1日～13日：深草学区内9会場）

深草学区社協主催の「地域別会食会」を訪問し、龍谷大学町家キャンパス、深草幼稚園など9会場で、延べ500人の方に冬の感染症予防についてのお話をさせていただいた。



<醍醐>

○第1回「健康と憩いの場」の開催（10月19日（木）石田学区／UR石田公団集会所）

健康講座、体操及び茶話会等により、参加住民の絆を深め、地域の輪を広げている。（以降月1回開催予定。）

○「おいでやす いきいき応援ひろば」の開催（10月26日（木）MOMOテラス）

地域包括支援センターと連携し、介護や健康に関する相談や各種測定、体操、生活習慣病などの啓発を大型商業施設で行うことにより、幅広い年齢層にPRしている。（年度内に2回目（冬季）を開催予定。）



伏見区関連の情報発信力の充実について

1 概要

区役所・支所及び伏見区内の関連事業所が実施する事業等について、市民しんぶん区版での情報発信に加えて、区政情報のさらなる発信力強化のため、自主広報の充実や、パブリシティ（間接広報）の積極的な活用等を行っている。

2 取組内容

(充実)

- (1) 市民しんぶん区版「きらり伏見」（12万部発行・区ホームページへの掲載）
- (2) 伏見区ホームページによる情報発信
- (3) 広報発表（京都新聞他 メディア16社）
- (4) フェイスブックによる情報発信
- (5) 京都リビングエフエム FM845

伏見区に放送局を置く地域コミュニティラジオ局。「伏見区役所インフォメーション」（毎週金曜日、約10分間）では、市民しんぶん伏見区版からピックアップしたイベント情報等の紹介。さらには、職員自ら番組に出演し、MCとインタビュー形式でイベントの告知等を行う。リスナー層は、主に高齢世代のため、その世代に向けた情報発信を意識。

(新規)

伏見区ホームページ「ふしみじかん」による情報発信

区及び区内関係事業所や関係団体等が実施した事業、区が支援する区民主体の活動の様子（区民活動支援事業、健康づくりサポーター事業等）などを紹介するコンテンツ「ふしみじかん」を開設。タイムリーな情報を、より効果的に発信することを目的としている。

(パブリシティでの掲載事例)

伏見経済新聞
(掲載案件：福祉用具展示会)



FM845 のワンコーナー
「ふしざくアラカルト」



伏見区役所で「福祉用具展示会」 講習会や電動車椅子の体験コーナーも

2017年10月15日

ツイート おすすめ 23 シェア G+



京都市の伏見区役所で10月17日、「第4回 福祉用具展示会」が行われる。主催は伏見区介護サービス事業者連絡会。

福祉用具展示会のチラシ

展示会が行われる伏見区役所 1階ホール

写真を拡大



地図を拡大

伏見区では「気軽に福祉用具にふれあう場を提供すること」「安心・安全に福祉用具を利用して貰うこと」「福祉用具を身近に感じて貰うこと」を目的に、福祉用具の展示会を行っている。

伏見区健康長寿推進課・介護保険担当係長の右近忠男さんは「区民の皆さんに用具を知っていただきたいので、4年前に展示会を企画した。最先端の介護ロボット、電動歩行器など事業者向けや、自宅でも使えるものなど、幅広く揃えている。自治体でこのような形で展示会を行っているのは、他にはあまり例がないのでは」と話す。

(「ふしみじかん」掲載例)

【5月25日】平成29年度第1回「伏見区基本計画推進区民会議」を開催しました。

伏見区では、まちづくりの指針となる「伏見区基本計画～皆でつくる すむまち伏見～」を着実に進めていくために、区内の各種団体や事業者、学識経験者の皆様と「伏見区基本計画推進区民会議」(座長:橋爪紳也大阪府立大学教授、副座長:村井信夫伏見区市政協力委員連絡協議会)を開催しています。

5月25日、伏見区総合庁舎で開催された今年度1回目の会議では、今年度の「伏見区運営方針」や伏見区役所・深草支所・醍醐支所が実施する新規・充実事業等について報告がありました。

委員からは、「伏見区に住んでいて良かった」と思えるまちづくりのため、活発な意見交換が行われました。



【5月28日】平成29年度京都市消防団総合査閲 春日野分団が第1位の栄冠に！

5月28日、京都市消防活動総合センター屋外訓練場で開催された「平成29年度京都市消防団総合査閲」において、伏見消防団の代表として出場した春日野分団が、これまで積み重ねてきた訓練の成果を発揮し、見事第1位の成績に輝きました。

総合査閲は、消防団の結束力の向上と技術練磨を図るため、市内各行政区から選抜された11分団が日々の消防団活動に加えて、点検や行進訓練、消防訓練の成績により順位が決められるものです。

今回の結果を受けて伏見消防団では、消防団活動の更なる充実を図り、地域の防火・防災につなげてまいります。



春日野分団が第1位の栄冠に！

【6月25日】交通安全伏見区民大会～みんなあつまれ ふしみっ子～

6月25日、深草支所で、交通安全伏見区民大会が開催されました。

伏見区内の幼児・小学生を中心に約300人が参加。小学生によるステージ発表、警察署による交通安全劇などが行われ、楽しみながら交通安全について学びました。

また、ストラックアウトやオリジナル反射材の作成コーナーも実施。夏休みを目前に参加者全員で交通安全を誓いました。



小学生のステージ発表